



学校だより 2月

横浜市立新井小学校

No. 508

令和3年1月29日

TEL 383-3455

FAX 381-7372

(URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/arai/>)

豊かな心と丈夫な体

校長 鈴木 由香里



年が明け、新年がスタートしてあっという間にひと月が経ち、もうすぐ2月に入ります。2月3日は立春。暦の上での春です。立春は1年の始まりとされ、きまり事や季節の節目はこの日が起点になっています。八十八夜や二百十日も立春から数えます。春の始まりとはいえ、まだまだ寒い日が続きます。そして、前日の2日が節分となるのは124年ぶりだそうです。節分には鬼を払います。今は世界中をコロナという鬼が襲っており、豆まきで追い払うことはできませんが、少しでも福を呼び込めるよう思い切り豆をまきたいと思っています。

1月に横浜市民ギャラリーにおいて、「小学校児童書写展」が開催されました。感染症対策のため規模を縮小し参観者数も制限されて行われました。本校の代表児童の作品も展示されており、どれも素晴らしい作品ばかりでした。作品を見る子どもとその家族は満面の笑みで、子どもと共に喜び合う姿が微笑ましく、温かい気持ちになりました。本校の今年の書写展を見てみると、同じ字であっても、一文字一文字にそのらしさが表現されており、心に迫ってくるものがありました。保護者の皆様に見ただけなかったことを申し訳なくおもっています。

先日行われた給食集会の中で、学校栄養士から次のような話がありました。新井小の給食の残食量が横浜市の平均と比較するととても多いという内容です。例として1日分の残食を人数分で表してみると、主食のごはんは横浜市の平均20人分に対して67人分、魚が17人分(市)に対して30人分、野菜は20人分(市)に対してなんと4倍の80人分が残食です。そのすべてが捨てられていること、ただではなくお金をかけて処分されていることを子どもたちに伝えました。飽食の時代となって久しいですが、「食」のあり方、大切さについて改めて考えてほしいと思っています。決して体格的に劣っている子どもたちではありません。ですが日頃から、精神的なたくましさや強く感じる場面が少なく、デリケートな子どもも多いように感じています。食べることは生きる源であり、活力を生み出します。

学校における食育の目標の中には

【心身の健康】心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。

【感謝の心】食べ物を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝の心をもつ。

があります。学校では学級活動の時間や給食の時間などを通して学年に応じた指導を行っています。ぜひご家庭でも「食」について話をしてみてください。豊かな心と丈夫な体で、たくましく生きる新井っ子であってほしいと願っています。